

## いきいき協働事業評価シート

担当課用

## ○ 協働事業の概要

記入年月日 令和 4年 2月 8日

事業名	樹林に対する新たな魅力の創出と保護意識の啓発事業(いきいき協働事業)
団体名	NPO法人東京ネイチャーランド
担当課名	環境部 水と緑と公園課
事業期間	令和3年9月9日～令和4年3月31日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

①地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

公園や緑地の樹林を次の世代に引き継ぐためには、地域の理解と保護意識の向上が必要である。

子どもたちがツリークライミングの体験を通じて、樹木を観察し、自力で登り、特別な景色を見ることで、自然を考える機会が生まれ、樹木を守ることの大切さを理解し、保護意識の向上が図れた。

また、その子どもの体験を見る、自然についての話を親子ですること、保護者の保護意識の向上にもつながった。

②団体の長所を、発揮させることが出来ましたか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。)

市が持たない知識や技能を持ち、ツリークライミング体験会の実績のある当該団体が実施することで、市民が特殊な体験を安全に行うことができた。当該団体が事業展開することで、専門的知識や技能を必要とする当該事業をより効果的・効果的に進めることができた。

③協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

事業前には、必ず打ち合わせを行い、スケジュールや内容等の確認を行った。確認事項や情報提供についてもメール等を利用し頻繁にやり取りをして、情報共有を図った。内容を細かく打ち合わせたことにより、市報による募集による集客もスムーズに行えた。

④改善提案がありますか。

団体と協働して、市民の樹木の保護意識の啓発を図る事業であり、目的の共有や相互の役割を理解した上で事業を進めたため、特に問題はなかった。

自由記載欄